

東北公益文科大学教職課程 履修カルテ 自己評価シート

学籍番号:	希望免許状(該当するものに○) 中学英語 高校英語	名前:
-------	---------------------------	-----

I. 必要な資質能力についての自己評価(1ページ目)

必要な資質能力の指標			自己評価
項目	項目	指標	( )年次
学校教育についての理解	教職の意義	教職の意義や教員の役割、職務内容、教員が担う責任の重さを理解していますか。	1・2・3・4・5
	教育の理念・教育史・思想の理解	教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4・5
	学校教育の社会的・制度的・経営的理解	学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4・5
子どもについての理解	心理・発達論的な子ども理解	子ども理解のために必要な心理・発達論の基礎知識を習得していますか。	1・2・3・4・5
	学習集団の形成	学習集団形成に必要な基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4・5
	子どもの状況に応じた対応	いじめ、不登校、特別支援教育などについて、個々の子どもの特性や状況に応じた対応の方法を理解していますか。	1・2・3・4・5
他者との協力	他者意見の受容	他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができますか。	1・2・3・4・5
	保護者・地域との連携協力	保護者や地域との連携・協力の重要性を理解していますか。	1・2・3・4・5
	共同授業の実施	他者と共同して授業を企画・運営・展開することができますか。	1・2・3・4・5
	他者との連携・協力	集団において、他者と協力して課題に取り組むことができますか。	1・2・3・4・5
	役割遂行	集団において、率先して自らの役割を見つけたり、与えられた役割をきちんとこなすことができますか。	1・2・3・4・5
コミュニケーション	発達段階に対応したコミュニケーション	子どもたちの発達段階を考慮して、適切に接することができますか。	1・2・3・4・5
	子どもに対する態度	気軽に子どもと顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができますか。	1・2・3・4・5
	公平・受容的態度	子どもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができますか。	1・2・3・4・5
	社会人としての基本	挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身に付いていますか。	1・2・3・4・5
教科・教育課程に関する基本的知識・技能	英語科	これまで履修した希望免許状の(英語科)教育分野の科目の内容について理解していますか。	1・2・3・4・5
	教科書・学習指導要領	教科書や希望免許状に関連する学習指導要領の内容を理解していますか。	1・2・3・4・5
	教育課程の構成に関する基礎理論・知識	教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4・5
	道徳教育・特別活動	道徳教育(中免)・特別活動の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4・5
	総合的な学習(探究)の時間	「総合的な学習(探究)の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4・5
	情報機器の活用	情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4・5
	学習指導法	学習指導法に係る基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4・5

## I. 必要な資質能力についての自己評価(2ページ目)

必要な資質能力の指標			自己評価
項目	項目	指標	( )年次
教育実践	教材分析力	教材を分析することができますか。	1・2・3・4・5
	授業構想力	教材研究を生かした英語科の授業を構想し、子どもの反応を想定した指導案としてまとめることができますか。	1・2・3・4・5
	教材開発力	教科書にある題材や単元等に応じた教材・資料を開発・作成することができますか。	1・2・3・4・5
	授業展開力	子どもの反応を生かし、皆で協力しながら授業を展開することができますか。	1・2・3・4・5
	表現技術	板書や発問、的確な話し方など授業を行う上での基本的な表現の技術を身に付けていますか。	1・2・3・4・5
	学級経営力	学級経営案を作成することができますか。	1・2・3・4・5
課題探求	課題認識と探求心	自己の課題を認識し、その解決にむけて、学び続ける姿勢を持っていますか。	1・2・3・4・5
	教育時事問題	いじめ、不登校、特別支援教育などの学校教委に関する新たな課題に関心を持ち、自分なりに意見を持つことができますか。	1・2・3・4・5

## (2)教職を目指す上で課題と考えている事項

--

引用参照: 文部科学省総合教育政策局教育人材政策課「20.履修カルテについて」『教職課程認定申請の手引き(令和4年度開設用)』、pp.204-206。

■履修モデル 中学英語 高校英語

区分	必要 単位数	種別	1年次		2年次		3年次		4年次	
			春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
教育の基礎的理解に関する科目	10	必修	*特別支援教育	*教職入門 *教育心理学	*教育原理 *教育行政					
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	中学:10 高校:8	必修				*総合的な探究の時間の指導法 *特別活動指導法				
					*生徒指導論 *進路指導論	*教育課程の編成とICT活用を含む教育の方法	*教育相談の理論と方法			
教育実践に関する科目	中学:7 高校:5	必修							教育実習Ⅰ・Ⅱ 実習指導	
					*道徳教育指導論					教職実践演習
教科及び教科の指導法に関する科目	中学:28 高校:24	必修		*英語科教育法Ⅰ	*英語科教育法Ⅱ	*英語科教育法Ⅲ	*英語科教育法Ⅳ			
		必修		多文化共生論	English PresentationⅠ	English PresentationⅡ	異文化コミュニケーション			
		選択			英語学概論	英語音声学	英米文学概論	Intensive ReadingⅠ	Intensive ReadingⅡ	Tourism English
						Advanced English Communication	Academic Writing			
大学が独自に設定する科目	中学:4 高校:12	必修		介護等体験(※中学免許必修)						
		選択		教育学 道徳教育指導論(高校のみ)						
教育職員免許法施行規則第66条の6に規定する科目(基礎的な科目)	8	必修	外国語		憲法					
		必修	情報リテラシー		体育と健康a		体育と健康b			
		選択	AⅠと社会 セキュリティ論							

注) 1. 中学免許を取得する場合は、「介護等体験」が必修となっている。体験を実施する前年度までに「特別支援教育」を受講しておくこと。

- ・特別支援学校 2日間(連続して) ・社会福祉施設等 5日間(連続して)

2. 1年春学期に『特別支援教育』を受講し、2年次に『介護等体験』の履修が望ましい。

3. 1年次は基礎教育科目を落とさないよう履修すること。

4. \*印は、教育実習を行う前に履修しなければならない科目。

5. 語学・情報科目と教職必修科目が重なった場合、クラス変更が可能な場合があるので、教職担当教員に相談すること。

6. 短期留学推奨期間: 1年次(夏季休暇、春期休暇) 2年次(春期休暇) ※介護等体験履修時期による

外国語(別掲1)

科目名	
EAP1 (Basic English)	EAP2 (Listening/Speaking)

記入日:20 / / 面接日:20 / /  
教職課程ワークシート

<基本情報>

氏名	学籍番号	担任教員名	面接教員名
介護等体験 終了( ) 予定( )	希望免許状	出身中学校名	出身高校名
教育実習予定校	教育実習予定期間	実習校とのアポイントメントの状況	

<科目履修状況:成績はSABCか空欄、今期履修科目は(レ)で示す>

◆教育の基礎的理解に関する科目等

授業科目	単位	修得年度	成績評価
<input type="checkbox"/> 教職入門			
<input type="checkbox"/> 教育原理			
<input type="checkbox"/> 教育心理学			
<input type="checkbox"/> 教育行政			
<input type="checkbox"/> 道徳教育指導論 (中学のみ)			
<input type="checkbox"/> 特別活動指導法			
<input type="checkbox"/> 総合的な探究の時間の指導法			
<input type="checkbox"/> 教育課程の編成と ICT 活用を含む教育の方法			
<input type="checkbox"/> 生徒指導論			
<input type="checkbox"/> 進路指導論			
<input type="checkbox"/> 教育相談の理論と方法			
<input type="checkbox"/> 特別支援教育			
<input type="checkbox"/> 教育実習 I・II			
<input type="checkbox"/> 実習指導			
<input type="checkbox"/> 教職実践演習			

◆大学が独自に設定する科目

授業科目	単位	修得年度	成績評価
<input type="checkbox"/> 介護等体験			
<input type="checkbox"/> 教育学			
<input type="checkbox"/> 道徳教育指導論 (高校のみ)			

## ◆教科及び教科の指導法に関する科目

授業科目	単位	修得年度	成績評価
<input type="checkbox"/> 英語学概論			
<input type="checkbox"/> 英文法			
<input type="checkbox"/> 英語音声学			
<input type="checkbox"/> 英語音声学演習			
<input type="checkbox"/> 英米文学概論			
<input type="checkbox"/> 英語文学講読 a			
<input type="checkbox"/> 英語文学講読 b			
<input type="checkbox"/> Advanced English Communication			
<input type="checkbox"/> English Presentation I			
<input type="checkbox"/> English Presentation II			
<input type="checkbox"/> Intensive Reading I			
<input type="checkbox"/> Intensive Reading II			
<input type="checkbox"/> Academic Writing			
<input type="checkbox"/> Tourism English			
<input type="checkbox"/> 多文化共生論			
<input type="checkbox"/> 国際関係学			
<input type="checkbox"/> 英米文化論 a			
<input type="checkbox"/> 英米文化論 b			
<input type="checkbox"/> 異文化コミュニケーション			
<input type="checkbox"/> 英語科教育法 I			
<input type="checkbox"/> 英語科教育法 II			
<input type="checkbox"/> 英語科教育法 III			
<input type="checkbox"/> 英語科教育法 IV			

## ◆66条の6

授業科目	単位	修得年度	成績評価
<input type="checkbox"/> 憲法			
<input type="checkbox"/> 体育と健康 a			
<input type="checkbox"/> 体育と健康 b			
<input type="checkbox"/> EAP1			
<input type="checkbox"/> EAP2			

<input type="checkbox"/> 情報リテラシー			
<input type="checkbox"/> セキュリティ論			
<input type="checkbox"/> AI と社会			

<教職への準備状況>

事項	記入欄(なるべく各欄に書きましょう)
教員採用試験への意思 (受験都道府県、私立学校)	
教育に関わるアルバイト やボランティア、サークル、資格	
TOEIC 等検定受験状況	
メディアセンターの教職 受験雑誌の利用	
新聞購読、日々のニュースを フォローしているか	
困っていること	
家族の意思とサポート	
所属コース	
その他特記事項 (アレルギーなど)	

【前学期の反省】

--

【本学期の目標】

--

【教員のコメント】

--

